



瓊浦高等学校
学校通信
第 78 号

平成31年2月28日発行
電話 095-826-1261
FAX 095-820-5245

浦 窓 瓊 の

「 必須アイテム 」

教頭 中村 淳

私が平成5年度に初めて持ったクラスには、ものづくりが得意な生徒が多かった。特に美術の授業では、「取り組む姿勢・アイデア・制作・仕上げ」において、作品を少しでも良くしようとする「こだわり」が強く印象に残っている。私は、制作で一番重要なことは「作品の完成イメージがはっきりと頭の中に描けるか」と思っているが、最初から具体的に思い描くのは意外と難しい。だから生徒にはとりあえず作って、おかしいところを探し、修正を加えながら完成させていくように指導している。この「改善点探し」と「修正」は、日本人の得意な「ものづくり」の原点だと私は考えている。

最近の生徒は、制作する時に失敗を恐れて慎重になりすぎているように見える。少し描いては消し、また描いては消すことを繰り返す者や、部分的に修正すれば済む作品でも全てを「リセット」するように、白い絵の具で全体を塗り直す者も増えている。

「失敗してもいいよ」「おかしくなっても修正すれば良いから」と指導しても、考え込んでしまう。「どのように描けばいいですか？」という「答え」を求める者や、参考作品そっくりに作ったりする者も多くなった。「想像して描くことが苦手？」幼児の作品を見るにつけ、小さい頃は楽しく、自由に描くことができていたのに「どうして？」と思ってしまう。

私はこのことについて、「テレビ」「テレビゲーム」「インターネット」の影響が大きいと感じている。これらの中には興味を引くものが常にあふれていて、何も考えなくても楽しむことができる。こういう環境の中では、たくさんの恩恵がある反面、失われていくもの、あるいは退化していくものもあるのではないかなと思う。

3月1日、この学校を巣立っていく277名の卒業生がいる。たくさんの思い出を胸に、これからの人生を楽しく歩んでいって欲しいが、時として辛く、厳しい状況に遭遇した時、「創造力」「イメージ力」が身を助けてくれると信じている。社会の荒波の中で生き抜くために、自分自身で様々な課題を前に、最善の解決方法を思い描く力をしっかり身に付けて欲しいと願っている。

社会に出るときの「必須アイテム」として、もっと芸術に親しむことをおすすめする。

情報ビジネス科 販売実習

～きらめきながさきマーケット～



2月15日(土)・16日(日)の2日間、JR長崎駅前かもめ広場にて「きらめきながさきマーケット」が開催され、「サンレモ蜜茶屋本舗」さんの商品として、本校がコラボした商品「原石シュー」が販売されました。これは情報ビジネス科の生徒が、商品開発の授業の一環として取り組み、この度商品化が実現したものです。卒業を控えた3年生が販売員として参加し、寒いなか奮闘した甲斐あって、売り切れ商品も出ました。「原石シュー」は通常販売されておりません。またこのような機会がありましたらぜひお立ち寄りになり、ご賞味ください。



【部活動成績】

●バスケットボール部男子
平成30年度長崎県高等学校新人体育大会
第3位

●陸上競技部
平成30年度長崎県高等学校
新人体育大会新人駅伝競走大会
男子 第2位
長島 玲音(龍機2A) 第4区区間賞

●バドミントン部男子
長崎県スポーツ賞
(第46回全国高等学校
選抜バドミントン大会)

●剣道部
平成30年度長崎県下女子剣道大会
高校生個人の部 山本 水椿(機2B)
第3位

《主な行事》3月



- | | |
|--------|--|
| 1日(金) | 卒業証書授与式 |
| 3日(日) | 危険物取扱者試験 |
| 5日(火) | 進路ガイダンス(2年)
写真撮影(～6日)
進路ガイダンス(2年) |
| 8日(金) | 強歩大会 |
| 9日(土) | スタディサポート
(龍普機1年・龍機2年【進学】)
就職・SPI模試
(龍機2年【就職】) |
| 12日(火) | 教科書販売 |
| 14日(水) | 美術鑑賞(普2年・情ビ1年
・機1年) |
| | 校内企業説明会
(情ビ・機械2年) |
| 15日(金) | 自宅学習 |
| 18日(月) | 終業式・離任式 |
| 19日(火) | 追試・補講開始 |
| 21日(木) | 学級編制試験・制服採寸
(新1年) |
| 31日(日) | 学用品販売 |

修学旅行

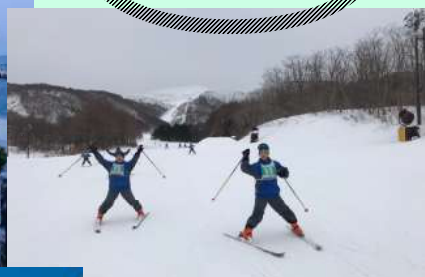
2月4日(月)～8日(金)にかけて、第2学年の修学旅行が実施されました。1日目は飛行機で東京へ飛び、そこからバスで福島県の箕輪へ移動します。その途中、震災学習のために二手にわかれ、津波被害にあった場所や資料館などを見学しました。各バスには地元の語り部の方が乗り、震災時の体験談をお話くださいました。情ビ・機械科班は当初車窓見学のための予定でしたが、生徒たちが希望して最後にバスを降り、今は静かな海に向かって手を合わせました。2日目・3日目はスキー・スノーボード研修。何度転んでも立ち上がって果敢に挑戦を繰り返し、2日間でかなり上達したようです。3日目午後には東京へと移動し、4日目は班ごとに自主研修を行いました。都会の複雑な電車網を乗りこなし、多少のトラブルにも対応できたことは、生徒たちの自信になったようです。最終日のディズニーランドは午前中のみでしたが、アトラクションに買い物にと、35周年を迎えた夢の国を満喫していました。

翌日から東京は雪が降り、交通機関も乱れたとのこと。天候に恵まれたなか、多くのものに触れ、体験し、学ぶことができた修学旅行でした。

震災学習



スキー研修



東京



けいほ展

長崎県美術館県民ギャラリーにおいて、「けいほ展」が開催されました。これは毎年KTNギャラリーで行っていたハタ・焼き物の展示をさらに発展させたもので、期間は2月19日(火)から24日(日)まで。文化祭展示で上位入賞した作品や美術部・写真部の作品に加えて、本校の特色ある活動を紹介したパネルなど充実した内容で、来場者は目標1000人を大きく上回る1852人でした。見てくださった方からは、「素晴らしいかった」「焼き物まであるとは思わなかった」といった声が聞かれ、受付後方のツムツムはお子様方に大人気。中には「瓊浦にこんなこと出来る人がいるとは」などという本音(!)の感想もあり、本校生徒の多様な才能を知っていただき、評価を高める機会となりました。最終日にはエントランスロビーで和太鼓サークルと吹奏楽部の演奏があり、会場はお客様でいっぱい。初の試みでしたが、大盛況のうちに閉幕しました。なお、けいほ展は来年も開催予定です。ぜひご期待ください。



エイサー同好会 ーランタンフェスティバルー

エイサー同好会は、去年に続いて2019年ランタンフェスティバルに参加しました。今年のランタンの期間は2月5日から19日までで、その期間中、孔子廟や唐人屋敷会場で計7回出演させていただきました。前半は2年生が修学旅行だったため、1・3年生のみでの演舞でした。観客からの評価は上々で、大変盛り上がったそうです。3年生はこのランタンフェスティバルで引退となりました。

【部長：井手花菜さん(普3B)の話】

「3年間エイサーを踊ってきたのですが、1年生の頃は注意されてばかりでした。それでも今こんなに成長できて、自分でも驚いています。今振り返ると高校生活はあっという間で、もっと成長できる、と思ったらもう3年生になっていました。最後のランタンだからと3年生一同やる気満々でした。後輩達も楽しそうに踊っていて、本当に楽しくて最高で、いい日になりました!お客さんからもいっぱい褒められて、最高でした。」

